



マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.6.15

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

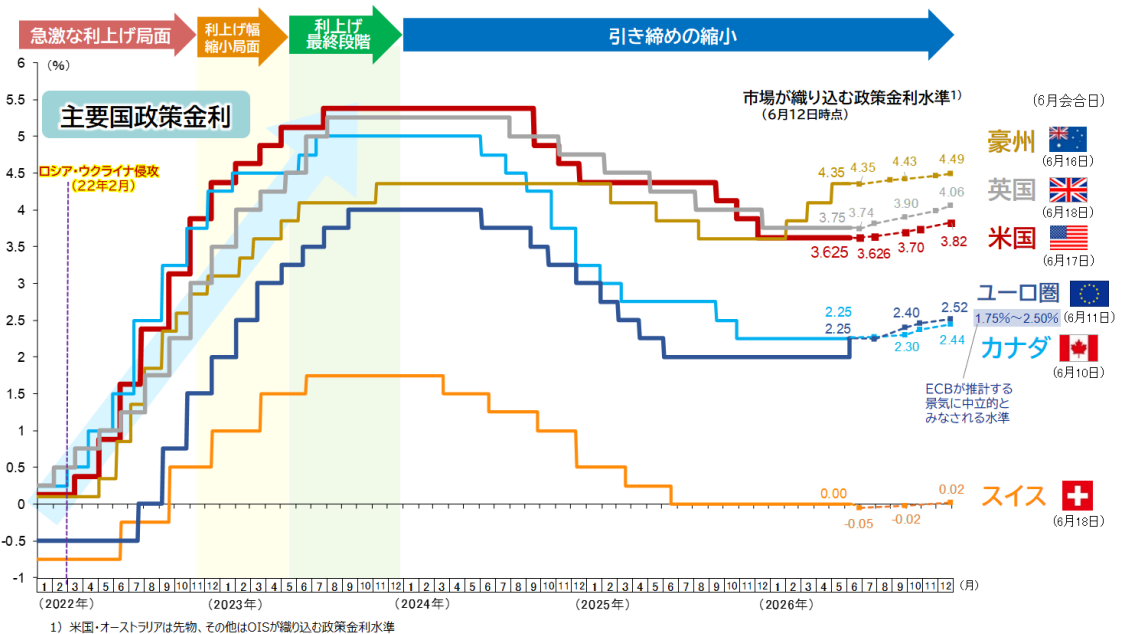
先週前半は、米・イランの戦闘再開で株安・債券安となりましたが、後半は一転して停戦合意が近いとの見方から原油価格が下落し、株式と債券は買い戻されました。週間騰落率はS&P500指数は+0.6%、ナスダック総合指数は+0.7%、独DAX指数は▲0.5%、日経平均株価は▲0.9%で終わりました。10年国債利回りは、米国が前週末比▲5bpの4.48%、ドイツは▲4bpの3.00%、日本は▲5bpの2.63%にそれぞれ低下しました。ドル円相場は前週末比ほぼ変わらずの160円24銭、WTI期近は前週末比▲6.3%の84.9ドル/バレルと4月17日以来の低水準で引けました。

今週は、日・米・英・豪・スイスで金融政策決定会合が行われます。この内、日銀が0.25%利上げ、その他4か国は政策金利据え置きが予想されます。また、米・イランの最終合意を受けて、G7首脳会議 (15-17日) では、機雷除去などホルムズ海峡航行正常化に向けた協議が行われる見通しです。

当面の注目イベント

- ◆ G7サミット (仏) (15-17日)
- ◆ 日・日銀金融政策決定会合 (15-16日)
- ◆ 豪・準備銀行 金融政策委員会 (16日)
- ◆ 米・FOMC (16-17日)
- ◆ スイス・中央銀行 政策理事会 (18日)
- ◆ 英・イングランド銀行 金融政策委員会 (18日)
- ◆ 日・5月コアCPI (19日)

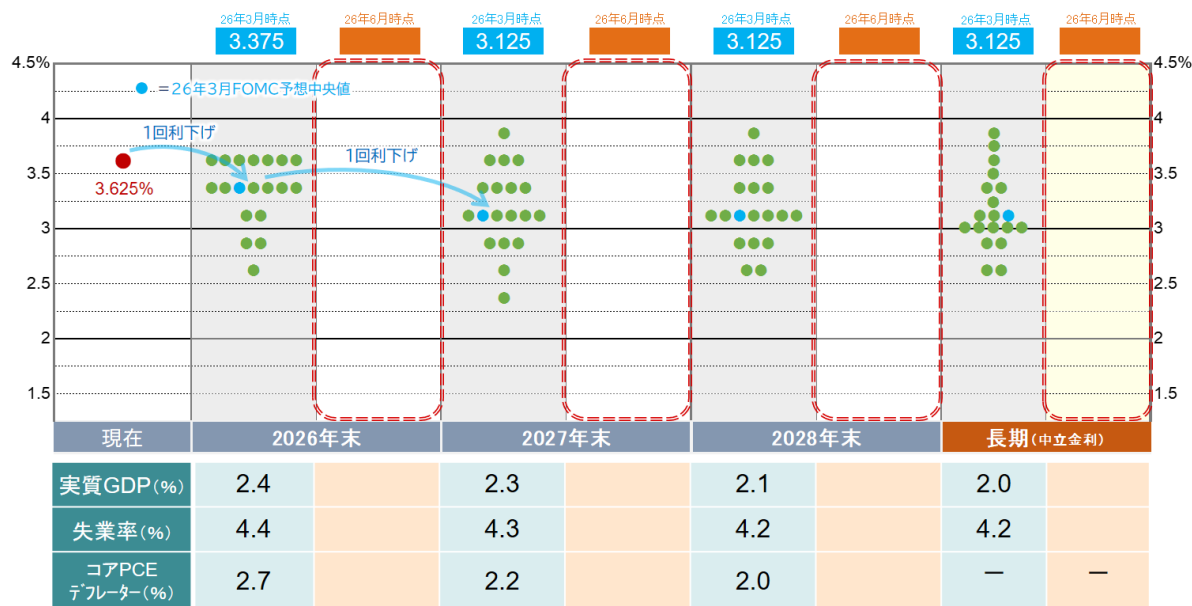
ECB (欧州中央銀行) は先週の理事会で、2023年9月以来となる0.25%の利上げを決定し、政策金利を2.25%に引き上げました。今週中に政策決定会合が開催される米・英・豪・スイスはいずれも現状維持が予想されています



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

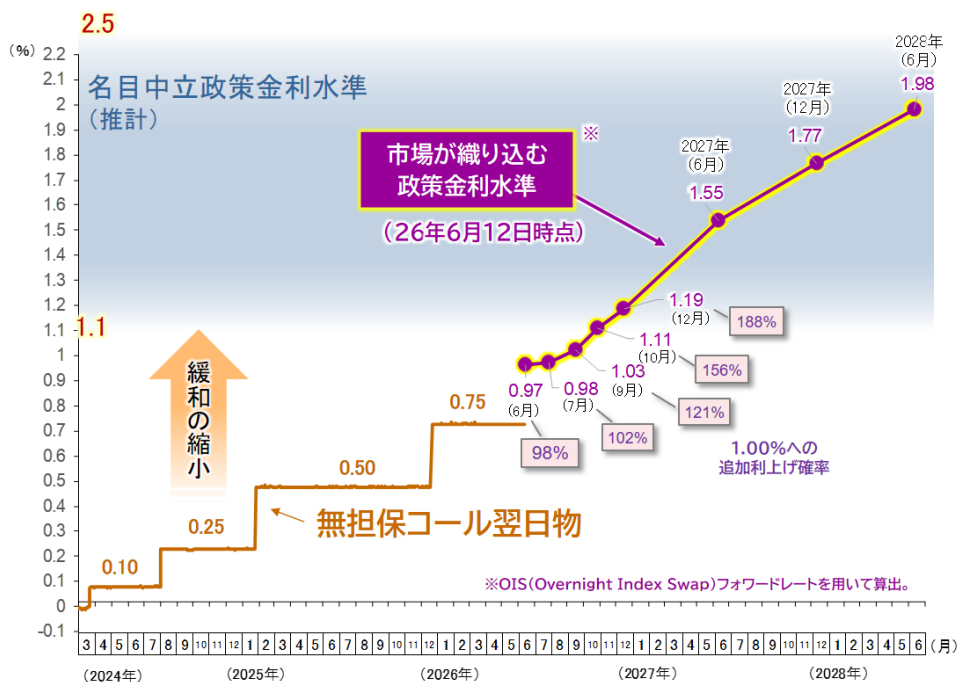
※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

3月に公表されたFOMC委員の政策金利予測では、26年・27年各1回の利下げが示唆されました。今回は年内の利上げを予測する委員が増えているとみられ、予測の中央値は年内据え置きを示唆に変化すると予想されます



【出所】FRBの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

市場が織り込む6月日銀会合での0.25%利上げの確率は98%に上昇し、利上げがほぼ確実視されています。市場の関心は次の利上げ時期に移っており、声明文や副総裁会見から何らかの示唆が得られるか注目されます



【出所】ブルームバーグ、東京短資の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年6月22日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。